

日本のODA 開始 50 年

日本は1954年(昭和29年)にコロンプランに加盟し、開発途上国に対する技術協力を開始しましたので、今年には日本のODA(政府開発援助)開始50年目を迎えています。第2次世界大戦後の荒廃からの復興のなか、1956年の国際連合への加盟により日本は国際社会に復帰しましたが、その端緒となったコロンプランへの加盟は、技術援助国としての日本の地位が当時の国際社会に認められたことを意味する画期的な出来事でした。

日本のODAは、有償資金協力、無償資金協力、技術協力等により成り立っています。JICAが担当しています技術協力はODAの中で歴史が古く、いまや世界各地の開発途上国を対象に展開している技術協力も、当初はアジア諸国に対する「研修員受入事業」と「専門家派遣事業」を柱にして開始されました。

「研修員受入事業」も 50 年

日本のODAは1954年アジアからの138人の技術研修員受入で開始されました。2003年度JICAが開発途上国の人材育成を目的に日本に技術研修のため受け入れた人数は世界148ヶ国約8,000人を数え、累計では17万人となり帰国研修員の中から大臣等の要人も輩出しております。過去50年間において、「研修員受入事業」も他のODAの変革と同様に、制度・内容等大きく変化し



観光開発と環境保全コース

てきておりますが、日本での研修の目的とする「被援助国の開発に必要な人材の養成のためにさまざまな分野の専門的な知識や技術の移転を行うとともに、研修員自身が滞日生活を通じて日本の社会・文化に直接触れることにより日本と被援助国との相互理解の促進を図り、国際親善に貢献すること」という意義は、現在においても何ら変わっておりません。

国民参加の「研修員受入事業」

JICAの「研修員受入事業」は、国の機関、大学、地方自治体、民間企業、NGO/NPO等多くの機関・個人の協力を得て成り立っています。まさに国民参加の事業といえます。

JICA中国国際センターにおいては研修員の皆さんに技術研修を学ぶ傍ら、地域社会の交流事業に積極的に参加していただいています。目下の研修事業の課題は、研修評価と帰国研修員に対するフォローアップのあり方を更に充実させることにありますが、当センターにおいては、中国地方ならではの特色ある研修コースを目指していきたいと思っておりますので、今後ともご支援のほどお願い申し上げます。

JICA 中国国際センター所長 熊倉 晃



中東地域 上水道維持管理コース

特集 — 研修員受入事業 —

JICA 中国は、毎年、多くの開発途上国から様々な形態で 350 名以上の技術者や行政官等を研修員として受入れています。受入れの形態は様々ですが、混乱を避けるため、中心である狭義の「研修員受入事業」に絞って以下ご紹介します。ちなみに狭義の研修員は毎年 200 名以上受入れています。

研修員の出身国は？

アジア地域（中近東、中央アジア除く）

：インドネシア、フィリピン、カンボジア、モンゴルなど

中近東地域：ヨルダン、シリア、パレスチナ、イエメンなど

中央アジア：ウズベキスタン、キルギスタンなど

アフリカ地域：ケニア、南アフリカ、ガーナ、タンザニア、ガンビアなど

中南米地域：ボリビア、ホンジュラス、コスタ・リカ、エクアドルなど

大洋州地域：サモア、トンガ、ミクロネシアなど

中東欧地域：ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア、ブルガリアなど

以上のとおり、ほぼ全世界から受入れています（馴染みのない国が多いのではないのでしょうか）。もちろん、西ヨーロッパ、北米等先進国は対象外となっています。

どこで、どのように行われているのですか？

JICA の研修は、基本的に国の機関、大学、県・市等地方自治体及び企業、NGO 等民間団体の協力に支えられて行われています。JICA 中国も例外ではなく、広島県、広島大学、広島市及び東広島市等の協力を得て、様々な課題に適った専用のカリキュラムを用意して研修を行っています。

研修施設がここ東広島市にあることもあり、広島県内での研修が大半を占めていますが、中国地方の他県内においても主に次のような研修を行っています。

中国地方(広島県以外)で実施している研修コース

2004 年 9 月 1 日現在

県名	研修コース名	主な実施機関
鳥取県	乾燥地水資源の開発と環境評価	鳥取大学
山口県	沿岸漁業の統合的な管理手法	(独)水産大学校
	ガスタービン・蒸気タービン(石炭)火力発電	(社)海外電力調査会

何か特徴がありますか？

隣接する広島大学は、国際教育協力の拠点大学の一つに位置付けられています。このため、同大学の協力を得た「教育」関係の研修コースを複数実施しています。

また、研修コース内容に関わりなく、被爆地「HIROSHIMA」を知ってもらうために平和記念資料館の訪問を、ほとんどすべての研修コースのプログラムに組み込んでいます。この点も、特徴の一つとすることができます。

今後は、真正面から「平和」に取り組む研修コースを立ち上げることを計画しています。本号が皆様のお手元に届くころには、ボスニア・ヘルツェゴビナ「平和のための教育ネットワーク」のコースを開始する予定です。

研修員の元気の素は市民との交流

日本をよく知ってもらうため、また、日本での生活を楽しんでもらうために、地元の行事（東広島市盆踊り、酒まつり等）への参加、ホームステイの機会等を研修員に提供しています。その他、研修員が学校を訪問し子ども達と交流する機会も設けるようにしています。

研修員にとってこれらの機会は、印象深い思い出となるとともに、異国日本における元気の素にもなっています。これらの催しは、多くの市民ボランティアの方々によって支えられています。



中東欧地域「サポーターインダストリー育成」の研修生

あなたの街の国際協力推進員

JICA国際協力推進員とは?

私たちはJICAと地域の連携強化を図るために、JICAデスクとして各都道府県国際化協会へ配置され、地域の特色を活かした国際協力に取り組んでいます。地方自治体、NGO、教育関係、そして地域の人々が、JICAと一緒に国際協力を進めるためのパイプ役です。

「JICAってどんなことをしてるの?」「青年海外協力隊に参加したい!」「開発途上国について知りたい!」「開発教育ってなに?」などなど、皆さんの疑問・質問にお答えします。

国際協力に興味のある人、情報収集をしている人、実際にチャレンジしたい人、すでにがんばっている人、お気軽に私たちに声をかけてください!

島根県

(財)しまね国際センター

TEL:0852-31-5056

FAX:0852-31-5055

配置先住所:〒690-0826

島根県松江市学園南1-2-1

くびきメッセ2F

E-mail:jicadpd-desk-shimaneken@jica.go.jp

URL: <http://www.sic-info.org/>



山下 稚香子

青年海外協力隊OG

派遣国:ソロモン諸島/トンガ

職種:家政

鳥取県

(財)鳥取県国際交流財団

TEL:0857-31-5951

FAX:0857-31-5952

配置先住所:〒680-0947

鳥取県鳥取市湖山町西4-110-5

鳥取空港国際会館1F

E-mail:jicadpd-desk-tottoriken@jica.go.jp

URL: <http://www.torisakyu.or.jp/ja/index.html>



大嘉 麻子

青年海外協力隊OG

派遣国:ジンバブエ

職種:青少年活動

山口県

(財)山口国際交流協会

TEL:083-925-7353

FAX:083-920-4144

配置先住所:〒753-0811

山口県山口市吉敷3185-1

E-mail:jicadpd-desk-yamaguchiken@jica.go.jp

URL: <http://www.yiea.or.jp/>



吉野 環

青年海外協力隊OG

派遣国:ルーマニア

職種:青少年活動

岡山県

(財)岡山県国際交流協会

TEL:086-256-2917

FAX:086-256-2226

配置先住所:〒700-0026

岡山市奉還町2-2-1

E-mail:jicadpd-desk-okayamaken@jica.go.jp

URL: <http://www.opief.or.jp/>



藤本 裕美

青年海外協力隊OG

派遣国:セネガル

職種:家政

広島市

(財)広島平和文化センター

TEL:082-242-8879

FAX:082-242-7452

配置先住所:〒730-0811

広島市中区中島町1-5

E-mail:yamasaki.e@pcf.city.hiroshima.jp

URL: <http://www.pcf.city.hiroshima.jp/ircd/index.cgi>



山崎 映子

青年海外協力隊OG

派遣国:トンガ

職種:珠算

広島県

(財)ひろしま国際センター

TEL:082-541-3777

FAX:082-243-2001

配置先住所:〒730-0037

広島県広島市中区中町8-18

広島県クリスタルプラザ6F

E-mail:hic06@hiroshima-ic.or.jp

URL: <http://hiint.hiroshima-ic.or.jp/hic/>



田中 順子

青年海外協力隊OG

派遣国:グアテマラ

職種:観光業



各県 国際協力推進員の動向

私たちはJICAと地域の連携強化を図るために、JICAデスクとして各都道府県国際化協会へ配置され、地域の特色を活かした国際協力に取り組んでいます。

⑦ 島根県 昨年に引き続き、今年も「国際理解セミナー」を10月から毎月1回、様々な方をファシリテーターにお迎えし12月まで、連続3回のセミナーを開催します。このセミナーは一方通行の講義ではなく、双方向の対話形式・参加型のワークショップ形式で行います。世界のさまざまな問題を自らのこととして捉え、知識だけでなく「参加する態度」を養います。

また、新しい試みとして今年度は4回目を設け、浜田市世界子ども美術館とも協同して、セミナーで学んだこと、気づいたことを生かす場

として、参加者のみなさんに「子ども国際理解セミナー」を一緒に企画運営していただく予定です。

世代や性別を越えた学びの場で「未来のこどものためにできることはなにか」一緒に考えてみませんか？



昨年度のセミナーの様子：ファシリテーター 浜田氏

⑦ 鳥取県 7月17日(土)に、「国際理解セミナー」第1回目が、倉吉市で開催されました。ファシリテーターに、桜井高志さんを迎え、『多文化共生社会って何？～外国で言葉が通じない、異文化に困った時の対処法』というテーマで、30名の参加者の方が、学び合いました。

午前中は、「言葉が通じない！ってどんな感じ？～ジェスチャーゲームでコミュニケーション！」「異文化体験をしてみよう！～シミュレーションゲーム『BARNGA』」など、参加型のゲームを通して、異文化体験をし、大変盛り上がりしました。

⑦ 異文化に対する先入観や思い込みがあった、あらためて発見したこ

とが多かったセミナーだった、地球は一つにつながっているんだと実感した、など、参加者の方から、新たな発見がたくさんあったと、感想をいただきました。

このセミナーは、8月(第2回)9月(第3回)も開催されました。このセミナーを通して、鳥取で、よりよい多文化共生社会を作っていけるきっかけ作りになればと思っています。



セミナーの様子

⑦ 岡山県 岡山県では、10月にJICAと岡山県の連携事業の「地球市民フェスタinおがやま2004」を開催します。これは、今年で3年目を迎える事業で10月30日、31日の二日間 岡山国際交流センター全館あけて行う国際貢献、国際協力の普及啓発のイベントです。コンセプトは「楽しく学べる国際理解ミュージアムの創造」です。

国際理解ワークショップやNGO団体による世界の味が楽しめるカフェ、民芸品販売、コンサート、講演会など盛り沢山です。そして、今年2

⑦ 日目31日には、JICAが全国で展開している「ピース・トーク・マラ

ソン～ひとりひとりにできること、一人のためにできること」というシンポジウムを合わせて行います。国際貢献、平和活動について考える良い機会です。

10月10日には「倉敷国際ふれあいひろば」にもJICAは参加します。こちらは、倉敷市と姉妹都市になっている国を中心とした約20カ国の人々とのふれあい広場です。今年で14年目となりますが、JICA初めての出展です。世界の料理、パフォーマンス、国際理解コーナーなどがあり、JICAは国際理解コーナーを担当します。それぞれ充実したイベントです。是非会場にお越しください。

⑦ 広島県 「平成16年度 国際理解教育セミナー～入門編～」募集が始まります!!

昨年度に引き続き、今年度もひろしま国際センターとJICA中国共催で「国際理解教育セミナー」を行ないます。今年度は講師の方々も超豪華メンバー勢揃いで、是非このチャンスをお見逃しなく！第1回目が10月24日から始まり、2月まで毎月1回行なわれますので、乞うご期待。詳しくは、P4インフォメーションをご覧ください。

⑦

また、来年2月末から3月初めにかけて、カンボジアスタディーツアーを企画しております。青年海外協力隊やシニア海外ボランティアの活動視察も含め、内容は盛り沢山の8日間ツアーです。皆様のご参加を心待ちにしております。



昨年度の国際理解教育セミナーの様子

⑦ 広島市 「国際教育協力研修会」開催!!

JICAでは、途上国での技術援助活動の経験と知識を日本の学校教育の現場に還元するべく、青年海外協力隊現職教員特別参加制度(公立学校の教員を対象に、現職を保持したまま青年海外協力隊へ参加するための特別制度。平成13年度から制度化)を実施しています。

本制度の派遣修了者の経験を共有し、さらなる学校教育活動への活用方法を探っていただくことを目的に8月19日(木)、広島市留学生会館において県教育委員会主催の「国際教育協力研修会」が開催されました。この研修会には、国際理解教育に取り組む県内の教職員24名が集まり、現職参加隊員経験者2名による帰国報告会に続き、グループディスカッションでの意見交換が活発に行われました。

⑦ 子どもたちにより豊かな国際感覚を持たせるための手法や取り組み

についての様々な意見が飛び交い、参加者からは「教師自身が目的意識を持って成長することが大切」「開発教育の具体的な手法を学べた」などの感想が寄せられ有意義な研修会となりました。

「現職教員特別参加制度」の次回募集は来年春に予定されています。詳しくはJICAホームページまで



http://www.jica.go.jp/activities/jocv/application/require/teacher/teacher_01.html

⑦ 山口県 自宅発～自転車10分～電車(山陽本線)30分～電車(山口線)20分～自転車10分～交流協会着という、2台の自転車と電車を乗り継いで通っている山口県国際協力推進員の吉野環です。

青年海外協力隊員として今年の4月まで東欧ルーマニアにいました。帰国して約1ヶ月で推進員になり、わけがわからぬまま推進員として2ヶ月が経ちました。

⑦ 8月には私としても初めての事業、『国際理解推進リーダー養成講座』がありました。

私にとって推進員の仕事は本当に始めて知ることばかりで、勉強しながら、周囲の方たちに聞きながら毎日過ごしています。国際交流や様々な夢を抱いている皆さんのお話を、ぜひ聞かせてください。山口県国際交流協会の交流ラウンジには、NGO等の様々な活動団体の情報や各国の言語で書かれた本などがあり、地元留学生との交流の場ともなっています。

国際交流、国際理解教育や開発教育などに興味のある方、いろいろな情報を得たいとお考えの方など多くの方々のお越しをお待ちしています。お気軽に、ぜひお立ち寄りください。

日本の教育を・・・

JICA 中国では多くの教育分野の研究コースを行っており、世界各国から教育行政官や教員を招き、日本の教育制度や教授法を勉強してもらったり、日本の学校を視察してもらったりしています。今回は、その中でも長年に渡り研修を実施し、未だに各国から多くの参加希望がある「中等科学教育実技」コースを紹介します。

中等科学教育実技・・・

このコースは、英語圏アフリカ地域を対象に、中等教育の教員や現職教員研修講師を招いています。研修の特徴は、科学の実験・観察に関する低コストの教材開発と、その教材を使用する教授法を紹介する点です。

開発途上国では、授業の多くが座学で、教師が黒板に書くことを生徒がただ板書するだけというものが多く、登校拒否や学力低下も、そもそもそのような授業に魅力がないからだとも指摘されています。

そのため、各途上国の教師から、生徒

の学習意欲を引き出すための実験・観察に関する研修への期待が多いわけです。

それでは実際に研修に参加する研修員の声を聴いてみましょう。

南アフリカ共和国 研修員・モスさんインタビュー

Q1：どこから来ましたか。

A1：ケニアの南東部にあるムプマランガ州から来ました。

Q2：あなたの国の教育、学校はどうですか。

A2：学校には施設や教材・教具が不足しています。また、教師は十分に教授法を勉強する機会がありませんので、良い授業ができないでいます。

Q3：来日時の日本・日本人の印象は。

A3：日本は技術的に大変発達しているという印象を持ちました。ビルも高く、都市も大変大きいですよね。そして、日本人は大変親しみやすいです。

Q4：日本の気候、環境はどうですか。

A4：少し暑いですが。南アフリカ共和国は今冬ですし、湿気も少ないので、特に暑く感じます。

Q5：日本の教育へのイメージは。

A5：まだ日本の教育に関する講義を受けていませんが、日本の都市や人を見れば、教育の質が大変高いことが想像できます。

Q6：研修に期待することは何ですか。

A6：実用的な教授法です。低コストで開発できる教材や、それを使用する教授法を学び、自国で活用したいと思っています。

Q7：研修以外に日本でしたいことはありますか。

A7：色々なところを旅行して、日本の文化を知りたいです。また、ホームステイをして、日本の家族にも触れてみたいです。



インタビューに答えてくれたモスさん

JICAボランティア秋募集スタート

自分の持っている知識や技術を生かし、開発途上地域の住民と一体となって、国づくり、人づくりに協力してみませんか？

JICA ボランティア平成 16 年度秋募集が 10 月 10 日（日）よりスタートします！今回は青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア、シニア海外ボランティア、日系社会シニアボランティアの 4 つのボランティアを募集します。

派遣期間は原則 2 年間、派遣国はアジア・アフリカ・中南米・中近東・大洋州・東欧地域の約 70 カ国です。応募締め切りは 11 月 16 日（火）です。各ボランティアの詳細、応募方法については JICA 中国のホームページをご覧ください。

また、中国 5 県で「体験談 & 説明会」

を開催します。「体験談 & 説明会」では、JICA ボランティア経験者と JICA スタッフが「ボランティアに興味はあるけど技術、語学の不安が...」等皆さまのお悩みや不安のご相談に個別に対応します。奮ってご参加ください！説明会開催日時については P 4 インフォメーションを、説明会に来場する JICA ボランティア経験者の情報についてはホームページをご覧ください。

お問合せ先：JICA 中国 ボランティア係
Tel:082 - 421 - 6310

JICA 中国のホームページ：

<http://www.jica.go.jp/branch/cic/index.html>

JICA 中国新企画

海外で現在活躍中の JICA ボランティアからのお便りをホームページに掲載しています！ご覧ください。



JICA ボランティア・平成16年度秋募集『体験談&説明会』会場一覧表

『体験談&説明会』(所要時間:約2時間)は、参加費無料・予約不要・入退室自由です!

青年海外協力隊&日系社会青年ボランティア

日程	会場	開催時間
鳥取 10月13日(水)	米子市文化ホール	18:30~
10月31日(日)	鳥取県立県民文化会館	14:00~
鳥根 10月12日(火)	石中央文化ホール	18:30~
10月30日(土)	松江テルサ	17:00~
岡山 10月14日(木)	岡山国際交流センター	18:30~
10月23日(土)	倉敷市芸文館	14:00~
11月 7日(日)	岡山国際交流センター	14:00~
広島 10月16日(土)	広島県民文化センターふくやま	14:00~
10月22日(金)	広島大学 大会館	18:30~
10月29日(金)	広島市まちづくり市民交流プラザ	18:30~
11月 7日(日)	広島市まちづくり市民交流プラザ	14:00~
山口 10月15日(金)	海峡メッセ下関	18:30~
10月17日(日)	スターピアくだまつ	14:00~
10月31日(日)	山口県教育会館	14:00~

日系社会青年ボランティアのOB 体験談も共催しております!

シニア海外協力隊&日系社会シニアボランティア

日程	会場	開催時間
鳥取 10月31日(日)	鳥取県立県民文化会館	10:30~
鳥根 10月30日(土)	松江テルサ	14:00~
岡山 10月23日(土)	倉敷市芸文館	10:30~
11月 7日(日)	岡山国際交流センター	10:30~
広島 10月16日(土)	広島県民文化センターふくやま	10:30~
10月28日(木)	広島市まちづくり市民交流プラザ	18:30~
11月 7日(日)	広島市まちづくり市民交流プラザ	10:30~
山口 10月17日(日)	スターピアくだまつ	10:30~
10月31日(日)	山口県教育会館	10:30~

日系社会シニアボランティアのOB 体験談も共催しております!

お問い合わせは、
JICA 中国
国際センター
ボランティア係まで!
☎ 082(421)6310
FAX 082(420)8082
E-mail:
jicacic-jocv@jica.go.jp

鳥根 平成16年度国際理解セミナー

~ 知る、考える、変わる、行動すること ~
第1回 国際理解協力とは? ~ その目的と実践上の課題 ~
会場: いわみーる(浜田市野原町 TEL:0855-24-9330)
講師: 山西 優二さん 早稲田大学文学部教授
日時: 平成16年10月3日(日)10:00~16:00
第2回 足りていますか? 心の栄養 ~ 地域の人や子どもたちとともに ~
会場: 二宮交流館(江津市二宮町 TEL:0855-53-1665)
講師: 金 香百合さん ホリスティック教育実践研究所代表
日時: 平成16年11月21日(日)10:00~16:00
第3回 私たちにできること ~ 今、多文化共生社会 ~
会場: ジャストホール(益田市遠田町 TEL:0856-23-5252)
講師: 阿部 一郎さん (特活)多文化共生センター代表
日時: 平成16年12月4日(土)10:00~16:00
募集人員: 各30名。

参加費: 無料(初回にお茶・資料代として100円頂きます。)

<お申込・お問合せ>

〒690-0826 松江市学園南1-2-1くにびきメッセ2F
(財)しまね国際センター 担当: 山下・秋庭
TEL: 0852-31-5056 FAX: 0852-31-5055
E-mail: jicadpd-desk-shimaneken@jica.go.jp

広島 2004 酒まつり

今年もJICA中国のある東広島市で恒例の酒まつりが行われます。JICA中国は、パネル展示や研修員による御興パレードを行います。皆様お誘いあわせの上ご来場ください。
日時: 平成16年10月9日(土)10日(日)10:00~17:00
場所: 西条駅周辺

JICAブースの出版

場所: 西条駅前駐車場
日時: 10月9日(土)・10日(日)10:00~17:00
内容: 民族衣装試着(記念撮影) 民族楽器体験等
写真パネルの展示
場所: 中央公民館ロビー
日時: 10月9日(土)・10日(日)10:00~17:00
内容: フォトコンテストの写真パネル展示、JICA紹介パネルの展示等
研修員による御興パレード
場所: 酒蔵通り
日時: 10月9日(土)午後
備考: 酒まつりオフィシャルサイト
<http://www.sakematsuri.com/>

広島 国際理解教育セミナー

ひろしま国際センターでは今年度も『国際理解教育セミナー』を開催します!
第1回 「国際理解教育で欠かせないもの」
日時: 平成16年10月24日(日)13:00~17:00
第2回 「国際理解教育の実践事例紹介IN静岡」
日時: 平成16年11月7日(日)13:00~17:00
第3回 「ジェンダーについて考える」
日時: 平成16年12月5日(日)13:00~17:00
第4回 「世界の多様性と格差」
日時: 平成17年1月16日(日)13:00~17:00
第5回 「参加型手法の実践例について」
日時: 平成17年2月20日(日)13:00~17:00

参加申込書は下記までお問い合わせください。

〒730-0037 広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F
(財)ひろしま国際センター 担当: 田中
TEL: 082-541-3777 FAX: 082-243-2001
E-mail: hic06@hiroshima-ic.or.jp

鳥取くらし国際交流フェスティバル

日時: 平成16年10月3日(日)10:00~15:00
場所: 倉吉未来中心(鳥取県倉吉市駄経寺町212-5)
対象: 一般 どなたでも
連絡先: 〒682-0802 鳥取県倉吉市東いわき町2
中部総合事務所別館 鳥取県国際交流財団 倉吉事務所
TEL: 0858-23-5931 担当 山根 直子

JICA ボランティア派遣人数

2004年7月31日現在

県名	協力隊	青年海外	シニア海外	青年V	日系社会	シニアV	日系社会	合計
鳥取県	13	1	0	0	0	0	0	14
鳥根県	21	2	1	0	0	0	0	24
岡山県	34	5	3	0	0	0	0	42
広島県	55	12	2	2	2	0	0	71
山口県	31	4	1	0	0	0	0	36

市民参加協力調整員着任!!

はじめまして。5月より中国地方に旋風?を巻き起こすべく、JICA中国の市民参加調整員として着任しました、名村欣哉(なむらきんや)です。兵庫県出身なのですが、縁あって中国地方のNGOや自治体の方々に草の根技術協力事業や青年招へい事業を通じて、国際協力へのサポートをさせていただくことになりました。

私は青年海外協力隊として最後の楽園?「ババア・ニューギニア」へ派遣され、3年間、現地の人々と様々な交流をしてきました。この協力隊時代に培った経験と隊員時代から持っている3Pの精神「POSITIVE(積極的に)PASSION(情熱を持って)PLAY(行動する)」を活かして、中国5県の皆様と共に国際協力への道を行んでいきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

JICAと地域のNGOや自治体、大学等との連携強化を目指し、市民参加協力調整員がJICA中国に新たに配置!!草の根技術協力事業の問い合わせへの対応や案件形成のためのコンサルテーション、青年招へい事業の実施など、中国地方のNGO・自治体をサポートします。まずは、JICA中国へ気軽に遊びにきんさい!!



草の根技術協力事業とは...

NGOや自治体、大学等がこれまでに培ってきた経験や技術を活かして企画した、途上国への協力活動をJICAが支援し、共同で実施する事業です。

お問い合わせ

JICA中国
独立行政法人国際協力機構 中国国際センター

〒739-0046 広島県東広島市鏡山3-3-1 ひろしま国際プラザ内
TEL:082-421-6300 FAX:082-420-8082
E-mail:jicacic@jica.go.jp
URL:<http://www.jica.go.jp/branch/cic/index.html>

